



2009年3月期 第2四半期決算補足資料 目 次

1. 損益計算書推移	P1~2
2. 為替レート	P1~2
3. グローバル製品売上高	P3
4. 海外売上高	P3
5. セグメント別情報（事業別）	P4
6. セグメント別情報（所在地別）	P4
7. 主要会社の状況	P5~8
8. 要員数の推移	P9
9. 主要経営財務指標	P10
10. 設備投資および減価償却費	P10
11. 単元株式の所有者別状況	P10
12. 連結貸借対照表	P11
13. 連結損益計算書	P12
14. 連結キャッシュ・フロー計算書	P13
15. 主要開発パイプラインの状況	P14~18

ご参考：ヒストリカルデータ

将来の見通しに関して

当社では、東京証券取引所に提出する収益予想に加えて、投資家や証券アナリストの皆様が自ら当社の業績に関する予想を立てられるよう、見通しに関するガイダンスを提供する場合があります。また、ご挨拶、講演、質疑応答、当社の発行する書面、ホームページ記載内容等には現在の計画、見通し、戦略などが含まれる場合があります。

何れの場合におきましても、歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また現在入手可能な情報から得られた当社の判断にもとづいております。従いまして、当社の業績、企業価値等を検討されるに当たりましては、これら見通しのみには全面的に依拠されることは控えて頂けるようお願い致します。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)急速な技術革新が進む創薬分野において、タイムリーに研究・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

1.損益計算書推移

	2008年度実績						増減内容（対前年同期）
	第2四半期		上半期		対公表 (7月発表)	前同増減	
売上高	<-2.7>		<-8.4>				非医薬事業のグループ外化に伴う減少 -164億円 '07年度欧州子会社の決算期変更に伴う影響額 -141億円
売上原価	100.0	2,026	100.0	4,063	63	-374	
販管費	24.2	490	24.0	976	-29	-156	
再掲) 研究開発費	65.1	1,320	60.8	2,471	-24	105	非医薬事業のグループ外化に伴う減少 -25億円 '07年度欧州子会社の決算期変更に伴う影響額 -86億円
再掲) 研究開発費以外の販管費	22.4	454	20.3	823	-27	41	
	42.7	866	40.5	1,647	2	64	
営業利益	<-17.1>		<-34.4>				07年度欧州子会社の決算期変更に伴う影響額 -18億円
営業外収益	10.7	216	15.2	616	116	-323	
営業外費用		25		61	1	-26	
		53		81	61	62	
経常利益	<-35.3>		<-40.8>				07年度欧州子会社の決算期変更に伴う影響額 -21億円
特別利益	9.3	188	14.7	596	56	-411	
特別損失		8		8	-17	-31	
		26		39	9	-28	
税引前利益	8.4	170	13.9	566	31	-414	
当期純利益	<-52.8>		<-43.6>				07年度欧州子会社の決算期変更に伴う影響額 -20億円
	4.4	89	8.4	340	40	-263	

<決算期変更による影響除外後の医薬品事業*の推移>

上記表とは前同比並びに前同増減の計数が異なります

	2008年度実績						増減内容（対前年同期）
	第2四半期		上半期		対公表 (7月発表)	前同増減	
売上高	<1.4>		<-1.7>				販売移管（コバシル、ザンタック等）の影響 -76億円 為替影響額 -140億円 エイゾール一時金 +47億円 主力3製品売上 +40億円
売上原価	100.0	2,026	100.0	4,063	63	-69	
販管費	24.2	490	24.0	976	-29	27	原価率+1.0P バナルジン取引スキームの変更等による
再掲) 研究開発費	65.1	1,320	60.8	2,471	-24	216	
再掲) 研究開発費以外の販管費	22.4	454	20.3	823	-27	49	優先プロジェクト開発進展に伴う費用の増加
	42.7	866	40.5	1,647	2	167	国内における人件費増加 +31億円（'07年度退職給付制度の一元化に伴い、一時的に減少） 欧米での先行投資拡大に伴う増加 +114億円（MR約700名増）
営業利益	<-18.7>		<-33.6>				為替影響額 -25億円
営業外収益	10.7	216	15.2	616	116	-311	
営業外費用		25		61	1	-23	
		53		81	61	62	米子会社DSIにおける擬似ストックオプションの評価損 欧州子会社無形固定資産の為替評価損等
経常利益	<-36.4>		<-39.9>				
特別利益	9.3	188	14.7	596	56	-396	
特別損失		8		8	-17	-15	前年同期に関係会社株式処分益23億円を計上
		26		39	9	-27	前年同期に事業統合関連損失40億円を計上等
税引前利益	8.4	170	13.9	566	31	-383	
当期純利益	<-53.6>		<-40.7>				
	4.4	89	8.4	340	40	-233	

*医薬品事業については、前年度との比較を容易にするために、継続対象としている事業について記載しております。従って、決算上の医薬品事業とは異なります。

2.為替レート

	2007年度実績	2008年度		2008年度当初予想レート
	上半期	上半期実績	年度予想	
円/USD（期中平均）	119.3	106.1	103.1	* 下半期1ドル=100円で推移することを想定 100.0 100.0
円/EUR（期中平均）	160.4	162.7	141.3	* 下半期1ユーロ=120円で推移することを想定 155.0 155.0

(単位：億円)

	2008年度予想					
	下半期		対公表 (7月発表)	年度		対公表 (7月発表)
売上高	<-0.6>		<-4.6>			
	100.0	4,337	-63	100.0	8,400	0
売上原価	24.8	1,074	-6	24.4	2,050	-35
販管費	61.8	2,679	159	61.3	5,150	135
再掲) 研究開発費	22.5	977	137	21.4	1,800	110
再掲) 研究開発費以外の販管費	39.3	1,703	23	39.9	3,350	25
営業利益	<-7.2>		<-23.5>			
	13.5	584	-216	14.3	1,200	-100
営業外収益		29	-21		90	-20
営業外費用		79	69		160	130
経常利益	<-21.9>		<-33.2>			
	12.3	534	-306	13.5	1,130	-250
特別利益		42	37		50	20
特別損失		51	26		90	35
税引前利益	12.1	524	-296	13.0	1,090	-265
当期純利益	<-17.1>		<-33.4>			
	7.2	310	-190	7.7	650	-150

<決算期変更による影響除外後の医薬品事業*の推移>

上記表とは前同士の計数が異なります

	2008年度予想						増減内容(対公表)
	下半期		対公表 (7月発表)	年度		対公表 (7月発表)	
売上高	<3.1>		<0.7>				為替影響額 -10億円 【上期：+約85億円、下期：-約95億円(為替レート€の変更)】 国内医薬-50億円、ヘルスケア-20億円、ルイトホルド社±75億円、 DSI±20億円
	100.0	4,337	-63	100.0	8,400	0	
売上原価	24.8	1,074	-6	24.4	2,050	-35	
販管費	61.8	2,679	159	61.3	5,150	135	
再掲) 研究開発費	22.5	977	137	21.4	1,800	110	U3ファーマ買収等による研究開発費の増加
再掲) 研究開発費以外の販管費	39.3	1,703	23	39.9	3,350	25	U3ファーマのれん償却費用 ±37億円
営業利益	<-6.4>		<-22.6>				
	13.5	584	-216	14.3	1,200	-100	
営業外収益		29	-21		90	-20	運用資金の減少
営業外費用		79	69		160	130	ランバクシー株式取得に伴う借入金利息発生 米子会社DSIにおける擬似ストックオプション 欧州子会社無形固定資産の為替評価損等
経常利益	<-21.3>		<-32.4>				
	12.3	534	-306	13.5	1,130	-250	
特別利益		42	37		50	20	
特別損失		51	26		90	35	大阪工場閉鎖に伴う臨時償却等
税引前利益	12.1	524	-296	13.0	1,090	-265	
当期純利益	<-18.0>		<-31.7>				
	7.2	310	-190	7.7	650	-150	

2008年度予想

1円の為替変動による年間業績へのインパクト

売上高 約21億円
営業利益 約3億円

売上高 約5億円
営業利益 軽微

3. グローバル製品売上高

		2008年度実績				2008年度予想				前同増減 除) 決算期変更影響	
		第2四半期	上半期	対公表 (7月発表)	前同増減	下半期	対公表 (7月発表)	年度	対公表 (7月発表)	上半期	年度
オルメサルタン 【高血圧症治療剤】		539	1,046	46	79	1,134	-6	2,180	40	143	288
(地域)											
オルメテック	日本	157	313	-17	49	367	17	680	0		
ベニカー/ ベニカーHCT	米国	221	455	45	10	425	-5	880	40		
エイソール	米国	24	38	8	38	57	2	95	10		
オルメテック/ オルメテックプラス *	欧州	103	187	-3	-36	173	-51	360	-54	28	5
セビカー	欧州	-	-	-	-	40	34	40	34		
輸出/アジア・中南米子会社等		33	54	14	19	71	-4	125	10		
レボフロキサシン 【合成抗菌剤】		236	493	-7	-36	527	-13	1,020	-20		
(地域)											
クラビット	日本	94	196	-24	-25	254	4	450	-20		
輸出等		83	178	18	1	142	-18	320	0		
特許料		40	80	0	-12	90	0	170	0		
アジア子会社		19	39	-1	0	41	1	80	0		
ブラバスタチン 【高コレステロール血症治療剤】		159	319	-11	-84	286	-9	605	-20	-68	-144
(地域)											
メバロチン	日本	131	266	-14	-51	244	-6	510	-20		
輸出		8	18	8	-11	12	2	30	10		
欧州子会社 *		12	20	-5	-22	15	-5	35	-10	-6	-16
アジア・中南米子会社		8	15	0	-1	15	0	30	0		

* 欧州オルメサルタン、ブラバスタチンの2007年度実績は、決算期の変更により15ヶ月分（2007年1月-2008年3月）を計上しております。
なお、2007年1月-3月の実績は、オルメサルタン64億円（€40 mil）、ブラバスタチン16億円（€10 mil）であります。

4. 海外売上高

		2008年度実績				2008年度予想				前同増減 除) 決算期変更影響	
		第2四半期	上半期	対公表 (7月発表)	前同増減	下半期	対公表 (7月発表)	年度	対公表 (7月発表)	上半期	年度
海外売上高		861	1,747	157	-138	1,703	-67	3,450	90	4	5
対売上高比率		42.5%	43.0%			39.3%		41.1%			
北米		536	1,119	159	7	1,051	-29	2,170	130		
欧州 *		233	457	-3	-110	453	-47	910	-50	31	67
アジア/中南米他		92	171	1	-34	199	9	370	10		

* 欧州子会社（DSE）の2007年度実績は、決算期の変更により15ヶ月分（2007年1月-2008年3月）を計上しております。
なお、2007年1月-3月の実績は、売上高141億円であります。

5.セグメント別情報（事業別）

（単位：億円）

	2008年度実績						
	第1四半期		第2四半期		上半期	前同増減	
連結売上高	<13.5>	2,037	<2.7>	2,026	<8.4>	4,063	-374
医薬品事業	<10.2>	2,029	<1.7>	2,016	<4.6>	4,045	-195
国内医療用医薬品	<8.2>	1,033	<-0.4>	1,016	<-4.5>	2,050	-96
海外医療用医薬品*	<-14.1>	887	<5.3>	858	<-5.5>	1,745	-102
ヘルスケア	<3.1>	102	<-5.2>	138	<-1.8>	240	-4
その他事業	<-91.5>	8	<-90.0>	10	<-90.7>	18	-179
連結営業利益	<-41.0>	400	<-17.1>	216	<-34.4>	616	-323
医薬品事業	<-42.3>	394	<-18.9>	209	<-35.9>	604	-338
その他事業	<->	5	<->	7	<->	12	16

*2007年度は、第一三共ヨーロッパ GmbH (DSE) の決算期を変更（12月期→3月期決算）したため、15ヶ月決算となっております。
2007年度上半期は、2007年1月～2007年9月の9ヶ月決算となっており、その影響額（2007年1月～3月）は、売上高141億円、営業利益18億円であります。

6.セグメント別情報（所在地別）

（単位：億円）

	2008年度実績						
	第1四半期		第2四半期		上半期	前同増減	
連結売上高	<13.5>	2,037	<2.7>	2,026	<8.4>	4,063	-374
日本	<12.6>	65.1 1,327	<-7.3>	65.7 1,330	<-10.1>	65.4 2,657	-297
北米	<12.5>	24.9 507	<1.4>	22.3 453	<6.9>	23.6 959	62
欧州*	<-53.1>	7.4 152	<41.9>	9.1 185	<-25.8>	8.3 336	-117
アジア/中南米 他	<-16.9>	2.6 52	<-16.3>	2.9 58	<-16.6>	2.7 111	-22
連結営業利益	<-41.0>	400	<-17.1>	216	<-34.4>	616	-323
日本		185		82		267	
北米		169		109		278	
欧州*		12		0		13	
アジア/中南米 他		7		4		11	

*2007年度は、第一三共ヨーロッパ GmbH (DSE) の決算期を変更（12月期→3月期決算）したため、15ヶ月決算となっております。
2007年度上半期は、2007年1月～2007年9月の9ヶ月決算となっており、その影響額（2007年1月～3月）は、売上高141億円、営業利益18億円であります。

7. 主要会社の状況

7-1. 第一三共単体

(単位：億円)

	2008年度実績				2008年度予想					
	上半期	対7月公表	前同増減	(07→08増減)	下半期	対7月公表	年度	対7月公表		
国内医療用医薬品合計	<-5.0>	2,004	4	-106	<-0.7>	2,146	-54	<-2.8>	4,150	-50
循環器関連疾患領域	<-4.2>	1,172	-48	-51	<0.7>	1,228	-2	<-1.7>	2,400	-50
オルメテック 【高血圧症治療剤】	<18.6>	313	-17	49	<27.5>	367	17	<23.2>	680	0
カルブロック 【高血圧症治療剤】	<23.0>	60	-10	11	<49.9>	80	10	<37.1>	140	0
アーチスト 【高血圧症治療剤】	<4.1>	110	0	4	<4.0>	110	0	<4.1>	220	0
メパロチン 【高血圧症治療剤】	<-16.0>	266	-14	-51	<-18.4>	244	-6	<-17.2>	510	-20
クレメジン 【慢性腎不全用剤】	<3.9>	64	4	2	<22.1>	76	-4	<13.0>	140	0
ハンブ 【急性心不全剤】	<-5.8>	42	-8	-3	<-0.2>	53	3	<-2.8>	95	-5
リバロ 【高血圧症治療剤】	<11.8>	29	-1	3	<79.0>	51	1	<46.6>	80	0
サンリズム 【不整脈治療剤】	<-3.6>	59	-11	-2	<2.3>	61	11	<-0.7>	120	0
ファスティック 【血糖降下剤】	<-0.3>	26	-4	0	<32.2>	34	4	<15.8>	60	0
感染症/骨・関節/ 免疫・アレルギー/泌尿器	<-2.3>	627	-13	-15	<2.2>	763	43	<0.1>	1,390	30
クラビット 【合成抗菌剤】	<-11.2>	196	-24	-25	<0.4>	254	4	<-5.0>	450	-20
ロキソニン 【消炎鎮痛解熱剤】	<15.2>	189	-1	25	<22.7>	211	11	<19.0>	400	10
モービック 【消炎鎮痛剤】	<-14.8>	46	-14	-8	<11.3>	54	4	<-2.4>	100	-10
ユリーフ 【排尿障害改善剤】	<52.2>	35	-5	12	<60.5>	50	0	<57.0>	85	-5
シルテック 【抗アレルギー剤】	<-20.7>	36	-4	-9	<-14.2>	54	4	<-16.9>	90	0
造影剤/癌/消化器	<-18.1>	248	-12	-55	<-19.5>	232	-28	<-18.8>	480	-40
オムニパーク 【造影剤】	<-8.5>	146	6	-13	<-5.3>	144	4	<-6.9>	290	10
トボテンシ注 【抗悪性腫瘍剤】	<1.4>	31	1	0	<9.2>	34	4	<5.3>	65	5

7-2. 第一三共ヘルスケア

	2008年度実績				2008年度予想			
	上半期	対7月公表	前同増減	(07→08増減)	下半期	対7月公表	年度	対7月公表
ヘルスケア売上高合計	<1.8>				<8.1>		<3.3>	
	240	-20	-4		280	0	520	-20
ルル類	<0.6>	49	-1	0	<5.7>	54	<3.2>	103
				感冒薬市場の低迷により売上は横這いとなったが、市場におけるシェアは拡大した。		1		0
ガスター10	<-4.0>	16	-1	-1	<21.6>	22	<9.1>	38
				胃腸薬市場における競合激化により微減。		1		0
新三共胃腸薬類	<20.0>	16	0	3	<-11.2>	19	<0.8>	35
				2007年11月に発売した新製品『新三共胃腸薬プラス』が順調に推移、既存品とのブランド内競合も少なく、売上増加。		0		0
パテックス類	<-14.5>	16	1	-3	<23.2>	14	<0.1>	30
				2007年度上半期に発売した『パテックスフェルピナク』シリーズの新製品（5・35・シップ）の寄与により、計画通り進捗。		-1		0
トランシーノ	<-14.5>	12	-8	-2	<50.3>	18	<14.9>	30
				2007年9月に発売後、新規ユーザーは一定して獲得できているものの、潜在ニーズを開拓し切れていない面があり減収。		-12		-20

7-3. 第一三共 Inc. (米国)

	2008年度実績				2008年度予想			
	上半期	対7月公表	前同増減	(07→08増減)	下半期	対7月公表	年度	対7月公表
第一三共 Inc. (DSI)	<5.8>				<7.0>		<6.4>	
	689	99	38		661	-39	1,350	60
mil USD	<19.0>				<17.0>		<18.0>	
	649	59	104		661	-39	1,310	20
ベニカー/ベニカーHCT 【高血圧症治療剤】	<2.2>	455	45	10	<-2.0>	425	<0.1>	880
				優れた降圧効果を有するアンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤（ARB）として、継続してプロモーションを積極展開し、ARB市場の拡大を上回る成長を継続。今年度よりDSIの単独販売体制も順調に稼働。		-5		40
mil USD	<15.0>	428	18	56	<7.3>	425	<11.0>	854
						-5		14
エイソール 【高血圧症治療剤】	<->	38	8	38	<124.3>	57	<272.9>	95
				2007年10月に販促開始後、卓越した有効性と安全性を有する製品としてのポジションを確立すべくプロモーションを強化。		2		10
mil USD	<->	36	6	36	<153.5>	57	<313.5>	92
						2		7
ウェルコール 【高コレステロール血症治療剤 /2型糖尿病治療剤】	<9.9>	125	10	11	<18.9>	135	<14.4>	260
				2008年1月の2型糖尿病有効能追加により、プロモーションを強化し伸長を加速。		0		10
mil USD	<23.6>	118	3	23	<29.8>	134	<26.8>	252
						-1		2

7-4. ルイトボルド ファーマシューティカルズ Inc. (米国)

	2008年度実績				2008年度予想			
	上半期	対7月公表	前同増減	(07→08増減)	下半期	対7月公表	年度	対7月公表
ルイトボルド (LPI)	<9.9>				<-17.0>		<-4.0>	
	270	70	24		220	20	490	90
mil USD	<23.6>				<-8.3>		<6.4>	
	255	55	49		221	21	475	75
ヴェノファー 【貧血治療剤】	<14.0>	168	53	21	<-16.2>	137	<-1.8>	305
				透析市場における堅調な推移に加えて、非透析市場においても伸長。		22		75
mil USD	<28.3>	159	44	35	<-7.3>	137	<8.9>	296
						22		66

7-5. 第一三共ヨーロッパGmbH (欧州)

	2008年度実績				2008年度予想			
	上半期	対7月 公表	前同 増減	(07→08増減)	下半期	対7月 公表	年度	対7月 公表
第一三共ヨーロッパGmbH (DSE)	<25.7>				<17.3>		<7.7>	
	337	-33	-116		383	-37	720	-70
mil EUR	<26.8>				<48.8>		<4.9>	
	207	-33	-76		302	32	509	-1
オルメテック/オルメテックプラス 【高血圧症治療剤】	<16.3>				<11.2>		<13.9>	
	187	-3	-36		173	-51	360	-54
mil EUR	<17.5>				<15.2>		<2.2>	
	115	-10	-24		140	0	255	-10
セビカー 【高血圧症治療剤】	-	-	-		<->		<->	
mil EUR	-	-	-		<->		<->	
	-	-	-		40	34	40	34
メパロチン 【高リステロール血症治療剤】	<52.2>				<-40.5>		<-47.7>	
	20	-5	-22		15	-5	35	-10
mil EUR	<52.8>				<-20.8>		<-40.6>	
	12	-4	-14		13	-1	25	-5
エビスタ 【骨粗鬆症治療剤】	<163.5>				<114.1>		<138.3>	
	68	-7	42		57	-18	125	-25
mil EUR	<159.7>				<181.2>		<170.6>	
	42	-6	26		47	-1	88	-8

* DSE、オルメテック/オルメテックプラス、メパロチン、エビスタの2007年度実績は、決算期の変更により15ヶ月分(2007年1月-2008年3月)を計上しております。
 なお、2007年1月-3月の実績はそれぞれ、141億円(€89 mil)、64億円(€40 mil)、16億円(€10 mil)、10億円(€6 mil)であります。

7-5. 第一三共ヨーロッパGmbH (欧州) <2007年度決算期変更による影響除外>

	2008年度実績				2008年度予想			
	上半期	対7月 公表	前同 増減	(07→08増減)	下半期	対7月 公表	年度	対7月 公表
第一三共ヨーロッパGmbH (DSE)	<8.0>				<17.3>		<12.8>	
	337	-33	25		383	-37	720	-70
mil EUR	<6.6>				<48.8>		<28.2>	
	207	-33	13		302	32	509	-1
オルメテック/オルメテックプラス 【高血圧症治療剤】	<17.4>				<11.2>		<1.6>	
	187	-3	28	単剤が堅調に推移したことに加え、2007年度中に主要国で上市が完了した配合剤が順調に伸長。	173	-51	360	-54
mil EUR	<16.0>				<15.2>		<15.5>	
	115	-10	16		140	0	255	-10
セビカー 【高血圧症治療剤】	-	-	-	(2007年9月、欧州28カ国に申請)	<->		<->	
mil EUR	-	-	-		<->		<->	
	-	-	-		40	34	40	34
メパロチン 【高リステロール血症治療剤】	<21.8>				<-40.5>		<-31.2>	
	20	-5	-6	自社販売、提携先への販売とも減少。	15	-5	35	-10
mil EUR	<22.7>				<-20.8>		<-21.7>	
	12	-4	-4		13	-1	25	-5
エビスタ 【骨粗鬆症治療剤】	<324.0>				<114.1>		<192.6>	
	68	-7	52	2008年2月、販売地域が8カ国から34カ国に大幅拡大したことにより売上も伸長。	57	-18	125	-25
mil EUR	<319.2>				<181.2>		<232.7>	
	42	-6	32		47	-1	88	-8

7-6. アジア/中南米 (ASCA)

1) 各社売上高

	2008年度実績				2008年度予想			
	上半期	対7月 公表	前同 増減	(07→08増減)	下半期	対7月 公表	年度	対7月 公表
ASCA合計	<11.6> 111	1	12		<15.5> 128	<13.7> 8	239	9
第一製薬北京 (DPP)	<4.7> 20	-1	1	現地通貨ベースでは +9.7%の伸長	<0.1> 22	<2.2> 3	42	2
上海三共 (SSP)	<47.1> 16	-1	5	現地通貨ベースでは +54.1%の伸長	<77.4> 21	<62.6> 1	37	0
韓国第一三共 (DSKR)	<2.7> 18	3	0	現地通貨ベースでは +29.5%の伸長	<0.5> 17	<1.6> 2	35	5
第一三共タイ (DSTH)	<7.2> 4	0	0	現地通貨ベースでは +24.9%の伸長	<0.2> 5	<3.4> 1	9	1
台湾第一三共 (DSTW)	<1.4> 19	-1	0	現地通貨ベースでは +6.4%の伸長	<10.6> 20	<5.9> 1	39	0
第一三共ブラジル (DSBR)	<13.3> 22	-1	3	現地通貨ベースでは +7.6%の伸長	<14.0> 28	<13.7> 1	50	0
第一三共ベネズエラ (DSVE)	<16.2> 11	1	2	現地通貨ベースでは +32.8%の伸長	<13.9> 16	<14.9> 2	27	3

2) 主要製品売上高

	2008年度実績				2008年度予想			
	上半期	対7月 公表	前同 増減	(07→08増減)	下半期	対7月 公表	年度	対7月 公表
オルメサルタン	<91.5> 32	7	15	台湾、ブラジル、ベネズエラなどでの拡大に加え、韓国でのコ・プロモーション開始 (08年4月) やインドでの新発売も寄与 (08年9月)	<69.4> 43	<78.2> 8	75	15
レボフロキサシン	<-0.5> 39	-1	0		<4.7> 41	<2.2> 1	80	0
ブラバスタチン	<-5.4> 15	0	-1		<-7.0> 15	<-6.2> 0	30	0

8. 要員数の推移

	2007年度		2008年度	
	3月末		6月末	9月末*
連結要員数	15,349		15,731	16,237
(再掲)				
国内要員数	9,048		9,106	9,096
海外要員数	6,301		6,625	7,141

	2007年度		2008年度			
	3月末	営業担当者数 (MR)	6月末	営業担当者数 (MR)	9月末*	営業担当者数 (MR)
連結要員数	15,349		15,731		16,237	
(再掲)						
【日本】						
第一三共 (DS)	5,925	2,400	6,024	2,400	6,007	2,400
第一三共ヘルスケア (DSHC)	396	150	399	150	401	150
【米国】						
第一三共INC. (DSI)	2,446	1,550	2,667	1,590	2,856	1,810
ルイトホルド社 (LPI)	498	90	495	90	497	90
【欧州】						
第一三共ヨーロッパ GmbH (DSE)	1,776	830	1,774	850	2,031	1,020
【アジア/中南米】						
第一製薬北京 (DPP)	443	143	443	143	470	164
上海三共 (SSP)	456	196	476	196	486	201
香港第一三共 (DSHK)	7	-	7	-	7	-
韓国第一三共 (DSKR)	89	51	89	49	89	48
第一三共タイ (DSTH)	46	18	43	17	38	13
台湾第一三共 (DSTW)	150	65	158	65	159	69
第一三共ブラジル (DSBR)	266	118	266	118	288	116
第一三共ベネズエラ (DSVE)	123	70	123	70	128	61

*会計期間の異なる海外子会社（中国等）については6月末要員数

9.主要経営財務指標

	2007年度実績		2008年度 実績	2008年度
	上半期	年度	上半期	年度予想
経営指標				
配当性向（連結）	42.1%	51.7%	83.9%	(86.6%)
純資産配当率（DOE）	-	4.0%	-	-
1株当たり利益（EPS）	83.2円	135.3円	47.7円	(92.3円)
1株当たり配当金	35.0円	70.0円	40.0円	80.0円
配当金総額	252億円	503億円	282億円	
自己資本当期純利益率（ROE）	-	7.8%	-	
1株当たり純資産（BPS）	1,762.0円	1,730.1円	1,683.8円	
自己資本比率	83.6%	83.6%	83.9%	
自己株式取得（株式数）	10,020千株	10,035千株	15,021千株	*うち、26百万株消却（9月）
自己株式取得	334億円	334億円	458億円	
期末発行済株式総数*	719百万株	719百万株	704百万株	
期末株価（終値）	3,450円	2,945円	2,695円	
時価総額	24,805億円	21,174億円	18,973億円	
財務指標				
総資産	15,158億円	14,879億円	14,123億円	
流動資産	9,449億円	9,265億円	8,575億円	
有利子負債	59億円	1億円	0億円	
自己資本	12,668億円	12,439億円	11,853億円	
営業CF	-68億円	667億円	188億円	
投資CF	56億円	-494億円	-1,980億円	
財務CF	-595億円	-829億円	-710億円	
フリーキャッシュフロー**	-12億円	173億円	-1,793億円	
現金および現金同等物期末残高	4,539億円	4,443億円	1,921億円	
手元流動性 （現金+有価証券+投資有価証券他）	6,526億円	6,655億円	3,851億円	
連結子会社数	46社	43社	43社	

*自己株式を除く

**営業CF+投資CFで算出しております

10.設備投資および減価償却費

	2007年度実績		2008年度 実績	2008年度
	上半期	年度	上半期	予想
減価償却費	188	387	193	385
設備投資（工事ベース）	128	211	77	180

（億円）

11.単元株式の所有者別状況

	2007年9月末			2008年3月末			2008年9月末		
	株主数 （名）	所有株式数 （百万株）	構成比	株主数 （名）	所有株式数 （百万株）	構成比	株主数 （名）	所有株式数 （百万株）	構成比
政府及び地方公共団体	1	0	0.0%	1	0	0.0%	2	0	0.0%
金融機関	192	343	46.7%	187	350	47.8%	189	340	48.0%
金融商品取引業者	65	17	2.4%	45	19	2.7%	46	12	1.8%
その他の法人	653	44	6.0%	673	44	6.1%	645	44	6.4%
外国法人等	614	221	30.2%	653	212	29.0%	642	216	30.6%
個人・その他	58,079	91	12.5%	56,944	89	12.2%	56,967	88	12.5%
自己株式	1	16	2.2%	1	16	2.2%	1	5	0.7%
合計	59,605	733	100.0%	58,504	733	100.0%	58,492	707	100.0%

12.連結貸借対照表

<資産の部>

(単位：億円)

	2008.3.31		2008.9.30		増減	増減内容
		構成比		構成比		
流動資産	9,265	62.3%	8,575	60.7%	-690	
現金及び預金	473		482		8	手元流動性（現預金＋有価証券＋投資有価証券他） 合計 3,851億円（対07年度末 -2,769億円）
受取手形及び売掛金	1,670		1,805		136	
有価証券	5,268		2,620		-2,648	【内容】・当期利益 +340億円 ・配当金支払 -252億円 ・自己株式取得 -458億円 ・U3ファーマ株式取得 -268億円 ・ランバクシー社関連公開買付準備金等 約-1,740億円
たな卸資産	982		1,005		24	
繰延税金資産	527		665		138	
預け金	-		1,709		1,709	
その他	349		292		-57	
貸倒引当金	-3		-2		1	ランバクシー株式取得に関わるデリバティブの繰延税金資産 ±91億円
固定資産	5,614	37.7%	5,548	39.3%	-66	
有形固定資産	2,213	14.9%	2,132	15.1%	-80	
建物及び構築物	1,368		1,312		-56	
機械装置及び運搬具	332		305		-27	
土地	331		335		4	
建設仮勘定	29		31		2	
その他	152		148		-4	
無形固定資産	911	6.1%	1,048	7.4%	138	
のれん	154		375		221	U3ファーマ（251億円 2Qより5年償却）
その他	757		673		-84	
投資その他の資産	2,490	16.7%	2,367	16.8%	-123	
投資有価証券	2,160		2,049		-111	株式市場の低迷による時価評価額の減少
長期貸付金	13		2		-11	
前払年金費用	80		74		-7	
繰延税金資産	60		60		0	
その他	180		186		6	
貸倒引当金	-4		-4		0	
資産合計	14,879	100.0%	14,123	100.0%	-756	

<負債及び純資産の部>

(単位：億円)

	2008.3.31		2008.9.30		増減	増減内容
		構成比		構成比		
負債合計	2,434	16.4%	2,267	16.1%	-167	
流動負債	1,945	13.1%	1,832	13.0%	-114	
支払手形及び買掛金	464		452		-12	
短期借入金	1		0		-1	
未払法人税等	187		141		-46	
返品調整引当金	8		8		0	
売上割戻引当金	8		12		4	
偶発損失引当金	2		-		-	
その他	1,276		1,219		-57	欧州エビスタ販売権取得等に伴う未払の減少 -288億円 ランバクシー株式取得に関わるデリバティブ債務 +225億円
固定負債	489	3.3%	436	3.1%	-53	
繰延税金負債	267		226		-41	
退職給付引当金	68		80		12	
役員退職慰労引当金	1		1		0	
環境対策引当金	11		3		-7	
その他	142		124		-17	
純資産	12,445	83.6%	11,856	83.9%	-589	
株主資本	12,116	81.4%	11,721	83.0%	-395	
資本金	500		500		0	
資本剰余金	1,799		1,052		-747	自己株式消却 -747億円（26百万株）
利益剰余金	10,251		10,314		63	利益剰余金の増加 +63億円 <変動要因> 当期利益 +340億円 配当 -252億円 取得：15百万株 -457億円、消却：26百万株 +747億円
自己株式	-434		-145		289	
評価・換算差額等	323	2.2%	132	0.9%	-191	
その他有価証券評価差額金	485		426		-60	株式市場の低迷による減少
繰延ヘッジ損益	-		-134		-134	ランバクシー株式取得に関わるデリバティブの評価差額
為替換算調整勘定	-163		-160		3	
新株予約権	3	0.0%	3	0.0%	0	
少数株主持分	4	0.0%	0	0.0%	-4	
負債純資産合計	14,879	100.0%	14,123	100.0%	-756	

*子会社の連結除外

当社は医薬品事業への集中を図るため、非医薬品事業のグループ外自立化を進めてきました。
2007年度においては、第一ファインケミカル（株）、埼玉第一製薬（株）等が連結除外となりました。

13.連結損益計算書

(単位：億円)

	2007年度第2四半期		2008年度第2四半期		増減	増減内容
	累計	構成比 (%)	累計	構成比 (%)		
売上高	4,437	100.0%	4,063	100.0%	-374	グループ外自立化対象としている事業の縮小 -164億円 欧州(07年度)決算期変更に伴う影響額 -141億円 薬価改定および製品の販売移管等による国内医薬の減収 -106億円
売上原価	1,132	25.5%	976	24.0%	-156	原価率 -1.5P 高原価率である非医薬事業子会社を連結除外*したことによる改善
売上総利益	3,305	74.5%	3,087	76.0%	-218	
販売費及び一般管理費	2,366	53.3%	2,471	60.8%	105	非医薬事業のグループ外自立化、欧州決算期変更に伴う影響額 -110億円
広告宣伝費及び販売促進費	506		531		25	海外事業基盤拡充の為に重点投資(DSI+57億円、DSE+58億円等)
給料・賞与及び手当	468		451		-17	
研究開発費	783		823		41	開発プロジェクト進展に伴う増加
その他	609		665		56	退職給付費用の増加 ±37億円
営業利益	939	21.2%	616	15.2%	-323	(07年度 国内における制度一元化に伴い一時的に減少)
営業外収益	87	2.0%	61	1.5%	-26	
受取利息	44		32		-12	
受取配当金	20		19		-1	
その他	24		11		-13	
営業外費用	19	0.4%	81	2.0%	62	
支払利息	1		0		-1	
為替差損	-		31		31	欧州子会社資産の為替評価損
デリバティブ評価損	-		23		23	米国DSIにおける擬似ストックオプション評価損
持分法による投資損失	-		1		1	
その他	18		25		8	
経常利益	1,007	22.7%	596	14.7%	-411	
特別利益	40	0.9%	8	0.2%	-31	
固定資産売却益	13		8		-5	
関係会社株式処分益	23		-		-23	前年同期、非医薬品事業のグループ外化に伴う子会社売却益を計上
投資有価証券売却益	3		-		-3	(第一ファインケミカル、埼玉第一製薬等)
特別損失	67	1.5%	39	1.0%	-28	
固定資産処分損	8		17		10	
減損損失	-		16		16	
投資有価証券評価損	-		3		3	
事業統合関連損失	40		-		-40	
事業再編関連損失	6		-		-6	
環境対策引当金繰入額	5		2		-3	
偶発損失引当金繰入額	8		-		-8	
税金等調整前四半期純利益	980	22.1%	566	13.9%	-414	
法人税、住民税及び事業税等	377	8.5%	226	5.6%	-151	法人税率 38.5%→40.0%
当期純利益	602	13.6%	340	8.4%	-263	

*子会社の連結除外

当社は医薬品事業への集中を図るため、非医薬品事業のグループ外自立化を進めてきました。
2007年度においては、第一ファインケミカル(株)、埼玉第一製薬(株)等が連結除外となりました。

14.連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	2007年度 第2四半期累計	2008年度 第2四半期累計	増減	増減内容
税金等調整前当期純利益	980	566	-414	
減価償却費	188	193	5	
のれん償却費	18	29	11	
退職給付引当金の増減額	-246	2	248	
前払年金費用の増減額	143	7	-136	
売上債権の増減額	46	-139	-185	
たな卸資産の増減額	-7	-20	-14	
仕入債務の増減額	-81	-11	70	
未払金及び未払費用の増減額	-650	-113	537	} 前期：要員適正化や機能子会社への転籍に伴う退職金未払等の支払いによる減少
その他	-91	-9	82	
法人税等の支払額	-368	-317	51	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	-68	188	256	
短期運用資産の増減額	39	415	376	有価証券による運用資産の減少(309億円)
固定資産の取得・売却等	-128	-275	-146	骨粗鬆症治療剤の欧州販売国拡大に伴う権利取得
投資有価証券の増減額	-30	-1,884	-1,854	
貸付金の増減額	87	6	-81	
子会社株式の売却による収入	88	-	-88	
子会社株式の取得による支出	-	-243	-243	U3ファーマ社株式取得
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	56	-1,980	-2,037	
借入金の増減額	-42	-1	41	
自己株式の取得による支出	-334	-458	-124	08年度：15百万株取得(457億円) 07年度：1千万株取得(332億円)
配当金の支払額	-219	-252	-33	1株当たり5円増配
その他	-1	-0	1	
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	-595	-710	-115	
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	-1	-19	-18	
V 現金及び現金同等物の増減額	-608	-2,522	-1,914	
VI 現金及び現金同等物の期首残高	5,132	4,443	-689	
VII 連結範囲の変更による増減額	5	-	-5	
VIII 非連結子会社との合併に伴う増加額	10	-	-10	
IX 現金及び現金同等物の期末残高	4,539	1,921	-2,618	

15.主要開発パイプラインの状況

第一三共グループ主要開発パイプライン (ステージ別)

領域	主な既存品	Phase1	Phase2
循環器	Mevalotin Benicar/Olmetec Azor Welchol オルメテック カルプロック アーチスト メパロチン クレメジン ハンブ リハロ サンリズム ヘパリコール	DB-772d(米/欧) (経口抗Xa剤) CS-8080(米/欧) (動脈硬化性疾患治療薬)	DU-176b(米/欧/日) (経口抗Xa剤) ☆CS-866CMB(日) (オルメサルタン、メキソミルとヒドロクロチアジドの配合剤) CS-747(日) (プラスグレル/抗血小板剤)
糖代謝	Welchol ファステック	AJD101(米/欧) (インスリンシグナル経路活性化剤) CS-1036(日) (糖吸収阻害剤)	CS-011(日) (リボグリタゾン/インスリン抵抗性改善剤) AJD101(日) (インスリンシグナル経路活性化剤)
感染症	Levaquin/Tavanic Banan クラビット	CS-8958(米/欧) (抗インフルエンザ/ピオタと共同開発)	CS-8958(日) (抗インフルエンザ)
癌	トポテシン クレスチン	CS-7017(米) (PPAR γ 作動薬)  U3-1287(米) (抗HER3抗体)	CS-1008(米) (抗DR5抗体) DE-766(日) (ニモズマブ/抗EGFR抗体)
免疫・アレルギー	ジルテック	CS-0777(米/欧) (免疫抑制剤) 	SUN13834(米) (キマーゼ阻害剤)
骨・関節	ロキソニン モービック		
その他	Venofer Evoxac オムニパーク オムニスキャン フエロン ユリーフ		SUN11031(日) (ヒトグレリン/神経性食欲不振症) SUN11031(米/欧) (ヒトグレリン/カヘキシア)

☆効能追加、剤形追加等

2008年7月(2008年度第1四半期決算発表)以降の主な変更

- 新規追加(アンダーライン) : CS-747(米/欧, ACS-MM)、CS-1036(日)
- ステージの変更 : DE-766(日)、SUN13834(米)
- 開発中止など : AJD101(米/欧/日)[臨床試験の結果、所期の成果が得られなかったため]

販売提携、導出候補品など

	Phase1	Phase2
—	HGF遺伝子プラスミド(米/欧)(虚血性心疾患/販売提携) SUN N8075(米/欧)(脳神経保護剤/セクラが開発)	HGF遺伝子プラスミド(米/欧)(末梢性血管疾患/販売提携) SUN N4057(米/欧)(セロニン1A7 agonist) CS-088(米/欧/日)(オルメサルタン/緑内障/参天と共同開発)

Phase3	承認申請中
<p>☆CS-747(米/欧) (プラスグレレル/ACS-MM/抗血小板剤)</p> <p>☆CS-866DM(日) (オルメサルタン トキソミル/糖尿病性腎症)</p> <p>☆CS-866AZ(日) (オルメサルタン トキソミルとアゼルニジピン[®]の配合剤)</p> <p>☆CS-8635(米) (オルメサルタン トキソミル、ヘパシル酸アムロジピン、 ヒドロクロチアジドの配合剤)</p>	<p>CS-747(米/欧) (プラスグレレル/ACS-PCI/抗血小板剤)</p> <p>☆CS-8663(欧) (オルメサルタン トキソミルとヘパシル酸アムロジピン[®]の配合剤)</p>
<p>CS-011(米/欧) (リボクアリタゾン/インスリン抵抗性改善剤)</p>	
<p>☆レボフロキサシン注(日) (ニューキノロン剤)</p>	<p>☆レボフロキサシン高用量(日) (ニューキノロン剤)</p>
<p>AMG 162(日) (デノスマブ / 抗RANKL抗体/癌骨転移、骨粗鬆症)</p> <p>☆CS-600G(日) (ロキソプロフェン ナトリウム/ゲル製剤)</p>	
<p>SUN Y7017(日) (メマンチン塩酸塩/ 軽度・中等度および高度アルツハイマー型認知症)</p> <p>KMD-3213(中国) (シロドシン/排尿障害治療剤)</p>	<p>☆DL-8234(日) (フェロン[®]効追/C型慢性肝炎/リバビリン併用療法)</p>

Phase3	承認申請中
	<p>DF-098(日)(アクトヒブ/販売提携/承認) HGF遺伝子プラスミド(日)(コラテジェン/末梢性血管疾患/販売提携) SUN 0588r(欧)(塩酸サプロテリン/高フェニルアラニン血症/ハイオマリンに導出)</p>

循環器

【原則P2以降の開発品を掲載しています】

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-747	プラスグレル	経口	抗血小板剤	急性冠症候群	第一三共 宇部興産	米 欧 日	申請中 申請中 P2
<p>〔備考〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 血小板表面でP2Y₁₂アデノシンニリン酸(ADP: adenosine diphosphate)受容体を遮断し、血小板の活性化および凝集を抑制する。 米国、欧州はイーライリリーとの共同開発。日本は自社開発。 米国では2007年12月、欧州では2008年2月に承認申請し、また米国において、2008年2月に優先審査品目に指定された。 FDA(米国医薬食品局)による当初の審査期限であった2008年6月26日、延長後の期限であった9月26日までに審査が完了せず、引き続き審査が継続されている。 第3相臨床試験において、プラスグレルは対照薬であるクロピドグレルに対して、重篤な心血管イベント発生リスクを統計学的有意性をもって19%減少させることが明らかとなり、出血の増加が認められたものの、リスクベネフィットを勘案した正味の臨床的有用性が示された(2007年11月開催の米国心臓協会学術大会にて発表)。 第3相臨床試験の結果より、プラスグレルはクロピドグレルと比較してステント血栓症の関連リスクを52%減少させることが確認されていたが、サブ解析から薬剤溶出性ステント治療を受けている群で64%、ベアメタルステント治療をうけている群で48%、それぞれリスクを減少させることが明らかとなった(2008年3月開催の米国心臓病会議のInnovation in Intervention Summitおよび米国心血管造営とインターベンション会議合同学術大会において発表)。 現在申請している適応は、経皮的冠動脈形成術(PCI: Percutaneous Coronary Intervention)を受けている急性冠症候群である(ACS-PCI)。 2008年6月より、新たに血管再建術を予定していない急性冠症候群患者を対象として、薬剤治療試験のP3を開始(ACS-MM)。 							

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
DU-176b	-	経口	抗Xa剤	心房細動に伴う心原性脳梗塞の予防 静脈血栓症の予防・治療	第一三共	米 欧 日	P2 P2 P2
<p>〔備考〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 血液が凝固する過程で重要な役割を果たす血液凝固第Xa因子を阻害する。 ヒトにおける高い経口吸収性が認められた1日1回投与が可能な経口抗Xa剤である。 前臨床試験および臨床試験において、肝機能異常を引き起こす可能性が低いことを確認している。 米国、欧州、日本とも自社開発。 股関節置換術(THR/欧米)を対象とした後期第2相臨床試験において、血栓塞栓症を用量依存的に抑制することが確認され、また血栓塞栓症の抑制効果が高い用量においても、出血の発現率の増加は認められなかった(2008年9月開催の欧州心臓病学会において発表)。 膝関節置換術(TKR/日本)を対象とした後期第2相臨床試験において、血栓塞栓症を用量依存的に抑制することが確認され、また大出血および臨床的に重要な出血の用量依存的な増加は認められなかった(2008年9月開催のアジア太平洋血栓止血学会において発表)。 米国、欧州、日本において実施していた心房細動を対象とした後期第2相臨床試験は終了し、今後学会での発表を予定している。また、2008年11月に第3相臨床試験を開始する予定。 							

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-8663	オルメサルタン メドキシミル ベシル酸アムロジピン	経口	アンジオテンシンII受容体拮抗剤 カルシウム拮抗剤	高血圧症	第一三共	欧	申請中
<p>〔備考〕</p> <ul style="list-style-type: none"> オルメサルタン メドキシミル(アンジオテンシンII受容体拮抗剤)とベシル酸アムロジピン(カルシウム拮抗剤)の配合剤。 米国:2007年9月承認。商品名:Azor(エイゾール)。 欧州:2007年9月申請。予定商品名:Sevikar(セビカー)。 オルメサルタンライフサイクルマネジメントの一環。 							

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-866DM	オルメサルタン メドキシミル	経口	アンジオテンシンII受容体拮抗剤	2型糖尿病における糖尿病性腎症	第一三共	日	P3
<p>〔備考〕</p> <ul style="list-style-type: none"> オルメサルタンライフサイクルマネジメントの一環として糖尿病性腎症への適応拡大。 ORIENT試験において、主要評価項目として腎複合エンドポイントを評価。 腎複合評価エンドポイント:血清クレアチニンの2倍化、末期腎不全への移行(Scr₂5mg/dL、透析移行、腎移植)、死亡 承認申請予定:2009年 							

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-866AZ	オルメサルタン メドキシミル アゼルニジピン	経口	アンジオテンシンII受容体拮抗剤 カルシウム拮抗剤	高血圧症	第一三共	日	P3
<p>〔備考〕</p> <ul style="list-style-type: none"> オルメサルタン メドキシミル(アンジオテンシンII受容体拮抗剤)とアゼルニジピン(カルシウム拮抗剤)の配合剤。 オルメサルタンライフサイクルマネジメントの一環。 承認申請予定:2009年 							

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-866CMB	オルメサルタン メドキシミル ヒドロクロロチアジド	経口	アンジオテンシンII受容体拮抗剤 利尿剤	高血圧症	第一三共	日	P2
<p>〔備考〕</p> <ul style="list-style-type: none"> オルメサルタン メドキシミル(アンジオテンシンII受容体拮抗剤)とヒドロクロロチアジド(利尿剤)の配合剤。 オルメサルタンライフサイクルマネジメントの一環。 米国:2003年9月発売。 欧州:2005年6月発売。 							

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-8635	オルメサルタン メドキシミル ベシル酸アムロジピン ヒドロクロロチアジド	経口	アンジオテンシンII受容体拮抗剤 カルシウム拮抗剤 利尿剤	高血圧症	第一三共	米	P3
<p>〔備考〕</p> <ul style="list-style-type: none"> オルメサルタン メドキシミル(アンジオテンシンII受容体拮抗剤)、ベシル酸アムロジピン(カルシウム拮抗剤)および利尿剤の配合剤。 オルメサルタンライフサイクルマネジメントの一環。 承認申請予定:2009年 							

糖代謝

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-011	リボグリタゾン	経口	インスリン抵抗性改善剤	糖尿病	第一三共	米 欧 日	P3 P3 P2
[備考] ・PPAR γ アゴニスト。 ・第2相臨床試験において、HbA1cの低下、TGの低下、HDL-Cの上昇が認められた。 HbA1C:投与開始時点からのHbA1c低下(プラセボ補正)は、リボグリタゾン2mg、3mg群ともピオグリタゾン45mg群に比較して有意に大きかった。 TG,HDL-C:リボグリタゾン群はピオグリタゾン群45mgに比較してTG低下、HDL-C上昇が大きかった。							

感染症

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-8958	-	吸入	ノイラミニダーゼ阻害剤	インフルエンザ	第一三共	米 欧 日	P1 P1 P2
[備考] ・長時間作用型のノイラミニダーゼ阻害剤であり、1回の投与のみで治療効果および週1回の投与での予防効果が期待できる。 ・米国、欧州でピオタ社と共同開発。日本では自社開発。 ・インフルエンザウイルスの感染部位である肺、気管に直接作用する吸入剤として開発中。 ・今シーズンよりP3開始予定。							

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
レボフロキサシ 高用量	レボフロキサシ	経口	ニューキノロン剤	細菌感染症	第一三共	日	申請中
[備考] ・DNAジャイレース活性およびトポイソメラーゼIV活性の阻害により細菌のDNA合成を阻害する。 ・2007年11月に申請。 ・レボフロキサシンの用法用量変更[1回100mg(重症な場合は200mg)、1日2~3回から、1回500mg、1日1回]。 ・レボフロキサシンライフサイクルマネジメントの一環。							

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
レボフロキサシ注	レボフロキサシ	注	ニューキノロン剤	細菌感染症	第一三共	日	P3
[備考] ・DNAジャイレース活性およびトポイソメラーゼIV活性の阻害により細菌のDNA合成を阻害する。 ・レボフロキサシンの注射剤であり、剤形追加。							

癌

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-1008	-	注射	抗DR5抗体	-	第一三共	米	P2
[備考] ・ヒトDeath Receptor 5(DR5)に対するアゴニスティックなマウスモノクローナル抗体であるTRA-8のヒト化抗体。 ・DR5は、ほとんどの正常細胞では発現していないことから腫瘍細胞選択的に作用することが期待される。 ・細胞表面にDR5を発現した癌細胞に対してアポトーシスを誘導する。							

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
DE-766	ニモツズマブ	注射	抗EGFR抗体	-	CIMYM バイオサイエンス	日	P2
[備考] ・Epidermal Growth Factor Receptor(EGFR、上皮細胞成長因子受容体)に対するヒトモノクローナル抗体。 ・皮膚毒性に関する安全性と他のEGFR抗体に匹敵する有効性から、ベストインクラスのEGFR抗体として期待される。							

免疫・アレルギー

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
SUN13834	-	経口	キマーゼ阻害剤	アトピー性皮膚炎	アスピオファーマ	米	P2
[備考] ・肥満細胞から放出されアレルギー反応に関与する内因性蛋白分解酵素であるキマーゼを阻害する。 ・アスピオファーマが米国にて開発中。 ・新規メカニズムの経口アトピー性皮膚炎治療薬になると期待される。							

骨・関節

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
AMG162	デノスマブ	注射	抗RANKL抗体	骨粗鬆症 がん骨転移	アムジェン	日	P3
[備考] ・骨吸収の鍵となるメディエーターであるRANKリガンドを特異的にターゲットとする完全ヒト型モノクローナル抗体。 ・2007年7月アムジェンより導入。 ・骨粗鬆症に対して、第3相臨床試験の実施中。 ・癌の骨転移に対して、第3相国際共同治験を実施中。							
開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-600G	ロキソプロフェン ナトリウム	ゲル	消炎鎮痛剤	-	第一三共	日	P3
[備考] ・作用機序:プロスタグランジン生合成抑制作用。作用点:シクロオキシゲナーゼ。 ・自社開発。 ・ロキソプロフェンナトリウム水和物含有経皮吸収型軟膏剤(ゲル製剤) ・ロキソニン(ロキソプロフェン ナトリウム)の剤形追加。							

その他

開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
SUN Y7017	マンチン塩酸塩	経口	NMDA受容体拮抗剤	アルツハイマー型認知症	メルツ	日	P3(高度) P3(軽・中等度)
[備考] ・既存のアセチルコリンエステラーゼ阻害剤とは異なり、グルタミン酸受容体の1つであるNMDA受容体への拮抗作用を有するアルツハイマー型認知症治療剤である。 ・神経細胞保護作用による認知症症状の進行抑制が期待される。 ・アスピオファーマが開発。 ・日本において「高度アルツハイマー型認知症」と「軽度・中等度アルツハイマー型認知症」に対するPhase3を実施中。							
開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
KMD-3213	シロドシン	経口	α 1A受容体選択的拮抗剤	前立腺肥大に伴う排尿障害改善	キッセイ薬品	中国	P3
[備考] ・前立腺の α 1A受容体をブロックし尿道の緊張を弛緩させ、尿道抵抗を改善する。既存薬に比べ α 1A受容体に対する選択性が高いため、循環器系への副作用が少なく、また自覚症状の早期改善が期待される。 ・日本では、ユリーフの販売名で第一三共、キッセイ薬品が販売。 ・中国で自社開発。							
開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
SUN 11031	ヒグレリン	注射	-	カヘキシア 神経性食欲不振症	アスピオファーマ	米 欧 日	P2 P2 P2
[備考] ・現在までに発見されている摂食行動に関係するホルモンの中で、グレリンは唯一の末梢性の内因性摂食亢進因子であり、あわせて強力な成長ホルモン分泌促進作用を有する。 ・米国、欧州、日本ともアスピオファーマが開発。 ・米国、欧州では、カヘキシアを対象に、日本では、神経性食欲不振症を対象に第2相臨床試験を実施中。							
開発番号	一般名	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
DL-8234	インターフェロン- β	注射	インターフェロン- β 製剤	C型慢性肝炎(リハビリンとの併用療法)	東レ	日	申請中
[備考] ・日本において商品名フェロンで販売。 ・2007年9月に効能追加[C型慢性肝炎(リハビリンとの併用療法)]申請。 ・東レとの共同開発。 ・ α 型に比較して抑うつ等の中枢性副作用、脱毛の発現が少ない天然型のインターフェロン- β 製剤。							

ヒストリカルデータ (ご参考)

1. 四半期損益計算書推移

(単位：億円)

	2007年度									
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度					
売上高	<12.9> 100.0	<3.3> 2,355	<3.0> 100.0	<7.3> 2,521	<5.3> 100.0	8,801				
売上原価	24.6	579	26.6	553	27.2	685	28.7	528	26.7	2,346
販管費	46.6	1,099	60.9	1,267	47.9	1,207	71.3	1,314	55.5	4,887
再掲) 研究開発費	13.9	327	21.9	455	15.4	388	25.2	465	18.6	1,635
再掲) 研究開発費以外の販管費	32.7	771	39.0	812	32.5	820	46.1	849	37.0	3,252
営業利益	<11.6> 28.8	<48.5> 678	<17.2> 12.5	<98.8> 261	<15.0> 24.9	<98.8> 629	<15.0> 0.0	<15.0> 1	<15.0> 17.8	<15.0> 1,568
営業外収益		59		28		35		48		170
営業外費用		21		-2		10		19		48
経常利益	<5.6> 30.4	<42.6> 717	<12.8> 14.0	<49.5> 290	<11.2> 25.9	<49.5> 654	<11.2> 1.6	<49.5> 30	<11.2> 19.2	<49.5> 1,691
特別利益		39		1		1		120		161
特別損失		40		26		23		94		183
税引前利益	30.4	715	12.7	265	25.1	632	3.1	57	19.0	1,669
当期純利益	<13.7> 17.6	<0.3> 414	<234.8> 9.0	<45.0> 188	<24.3> 14.3	<45.0> 362	<24.3> 0.7	<45.0> 12	<24.3> 11.1	<45.0> 977

2008年度		
第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
<13.5> 100.0	<2.7> 2,037	<8.4> 100.0
23.9	486	24.0
56.5	1,151	60.8
18.1	369	20.3
38.4	782	40.5
<41.0> 19.6	<17.1> 400	<34.4> 10.7
	36	25
	28	53
<43.0> 20.1	<35.3> 409	<40.8> 9.3
		188
		14.7
	0	8
	13	26
19.4	395	13.9
<39.4> 12.3	<52.8> 251	<43.6> 4.4
		89
		8.4
		340

<決算期変更並びに非医薬品事業グループ外化による影響除外後の業績>

(単位：億円)

	2007年度									
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度					
売上高	<2.5> 100.0	<6.5> 2,133	<7.7> 100.0	<3.2> 1,999	<5.1> 100.0	8,340				
売上原価	22.1	472	23.9	478	24.9	605	26.8	476	24.3	2,030
販管費	46.9	1,000	62.8	1,255	49.2	1,196	73.6	1,308	57.1	4,758
再掲) 研究開発費	15.1	322	22.7	453	15.9	385	26.1	464	19.5	1,624
再掲) 研究開発費以外の販管費	31.8	678	40.1	802	33.3	811	47.5	844	37.6	3,135
営業利益	<34.2> 31.0	<69.3> 662	<19.8> 13.3	<-> 266	<29.2> 25.9	<-> 630	<29.2> -0.4	<-> -7	<29.2> 18.6	<29.2> 1,551
営業外収益		56		28		35		48		166
営業外費用		21		-2		10		18		47
経常利益	<27.6> 32.7	<58.4> 697	<15.4> 14.8	<47.7> 295	<24.2> 27.0	<47.7> 655	<24.2> 1.3	<47.7> 23	<24.2> 20.0	<47.7> 1,671
特別利益		22		1		1		50		74
特別損失		40		26		23		79		169
税引前利益	31.8	679	13.5	270	26.1	634	-0.4	-7	18.9	1,576
当期純利益	<23.3> 17.9	<28.4> 381	<-> 9.6	<-> 192	<167.7> 15.9	<-> 387	<167.7> -0.5	<167.7> -9	<167.7> 11.4	<167.7> 951

2008年度		
第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
<4.5> 100.0	<1.4> 2,037	<1.7> 100.0
23.9	486	24.0
56.5	1,151	60.8
18.1	369	20.3
38.4	782	40.5
<39.5> 19.6	<18.7> 400	<33.6> 10.7
	36	25
	28	53
<41.4> 20.1	<36.4> 409	<39.9> 9.3
		188
		14.7
	0	8
	13	26
19.4	395	13.9
<34.2> 12.3	<53.6> 251	<40.7> 4.4
		89
		8.4
		340

2. グローバル製品売上高

(単位：億円)

	2007年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度
オルメサルタン	<3.6> 531	<33.1> 436	<35.8> 540	<22.8> 449	<22.0> 1,956
オルメテック (日本)	<40.5> 138	<31.4> 126	<29.5> 176	<21.4> 112	<30.7> 552
パニカー/パニカーHCT (米国)	<36.1> 228	<23.0> 217	<22.0> 241	<-2.0> 193	<5.3> 879
エイソール (米国)	-	-	<-> 19	<-> 7	<-> 25
オルメテック/オルメテックプラス* (欧州)	<185.4> 149	<52.4> 74	<45.0> 83	<66.5> 112	<85.6> 418
輸出/アジア・中南米子会社等	<196.1> 16	<184.6> 19	<199.0> 21	<180.7> 25	<189.2> 81
レボフロキサシン	<17.9> 295	<1.6> 235	<1.0> 321	<3.6> 237	<4.4> 1,087
クラブット (日本)	<3.5> 121	<7.2> 100	<8.5> 155	<11.5> 98	<1.4> 474
輸出等	<41.1> 108	<20.0> 69	<13.2> 97	<-5.5> 66	<6.8> 340
特許料	<8.5> 47	<8.6> 46	<-6.9> 48	<3.0> 54	<2.8> 195
アジア子会社	<39.6> 20	<20.7> 19	<19.6> 21	<2.9> 19	<19.5> 78
プラバスタチン	<16.2> 217	<28.6> 186	<12.3> 216	<14.1> 145	<18.3> 765
メバロチン (日本)	<8.4> 163	<9.6> 154	<8.7> 182	<10.3> 116	<9.1> 616
輸出	<72.5> 17	<83.7> 12	<54.7> 14	<68.2> 7	<73.4> 50
欧州子会社*	<77.9> 28	<22.8> 13	<13.3> 12	<1.5> 13	<11.5> 67
アジア・中南米子会社	<270.7> 8	<210.4> 8	<224.0> 8	<212.7> 8	<227.5> 32

2008年度		
第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
<4.5> 507	<23.7> 539	<8.2> 1,046
<12.8> 156	<24.9> 157	<18.6> 313
<2.6> 234	<1.8> 221	<2.2> 455
<-> 14	<-> 24	<-> 38
<44.3> 83	<40.7> 103	<16.3> 187
<30.4> 20	<72.2> 33	<53.6> 54
<12.6> 258	<0.5> 236	<6.8> 493
<15.5> 102	<6.0> 94	<11.2> 196
<11.3> 96	<19.4> 83	<0.7> 178
<12.6> 41	<13.8> 40	<13.2> 80
<1.8> 19	<0.9> 19	<0.5> 39
<25.8> 161	<14.9> 159	<20.8> 319
<17.1> 135	<14.8> 131	<16.0> 266
<39.0> 10	<33.6> 8	<36.8> 18
<74.3> 7	<-3.4> 12	<52.2> 20
<3.1> 8	<7.6> 8	<5.4> 15

* 2007年度は、第一三共ヨーロッパGmbH (DSE) の決算期を変更 (12月期→3月期決算) したため、15ヶ月決算 (2007年1月-2008年3月) となっております。
2007年1月-3月の実績は、オルメテック/オルメテックプラス64億円 (€40mil)、プラバスタチン16億円 (€10mil) であります。

4. 海外売上高

(単位: 億円)

	2007年度					2008年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
海外売上高	<8.4>	<4.4>	<14.2>	<4.2>	<0.5>	<15.9>	<3.6>	<7.3>
対売上高比率	1,055	830	924	778	3,586	887	861	1,747
	44.8%	39.9%	36.6%	42.2%	40.7%	43.5%	42.5%	43.0%
北米	<30.0>	<0.5>	<15.0>	<11.9>	<9.1>	<3.9>	<2.7>	<0.6>
	561	551	622	465	2,199	583	536	1,119
欧州*	<41.8>	<3.7>	<2.0>	<7.7>	<16.8>	<42.6>	<31.8>	<19.5>
	391	177	194	223	985	224	233	457
アジア/中南米他	<39.2>	<33.2>	<38.3>	<17.0>	<31.9>	<22.3>	<10.9>	<16.6>
	103	103	107	90	402	80	92	171

* 2007年度は、第一三共ヨーロッパ GmbH (DSE) の決算期を変更 (12月期→3月期決算) したため、15ヶ月決算 (2007年1月-2008年3月) となっております。2007年1月-3月の実績は、売上高141億円であります。

5. セグメント別情報 (事業別)

(単位: 億円)

	2007年度					2008年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
連結売上高	<12.9>	<3.3>	<3.0>	<7.3>	<5.3>	<13.5>	<2.7>	<8.4>
	2,355	2,082	2,521	1,843	8,801	2,037	2,026	4,063
医薬品事業	<8.8>	<2.2>	<7.0>	<3.1>	<0.4>	<10.2>	<1.7>	<4.6>
	2,258	1,982	2,412	1,756	8,408	2,029	2,016	4,045
国内医療用医薬品	<3.9>	<4.0>	<2.3>	<1.8>	<0.9>	<8.2>	<0.4>	<4.5>
	1,125	1,020	1,357	870	4,373	1,033	1,016	2,050
海外医療用医薬品*	<6.5>	<8.9>	<16.2>	<3.2>	<4.3>	<14.1>	<5.3>	<5.5>
	1,032	815	894	783	3,525	887	858	1,745
ヘルスケア	<11.5>	<8.5>	<0.1>	<30.6>	<4.9>	<3.1>	<5.2>	<1.8>
	99	145	152	108	503	102	138	240
その他事業	<57.9>	<53.5>	<43.4>	<69.6>	<57.4>	<91.5>	<90.0>	<90.7>
	97	100	109	87	393	8	10	18
連結営業利益	<11.6>	<48.5>	<17.2>	<98.8>	<15.0>	<41.0>	<17.1>	<34.4>
	678	261	629	1	1,568	400	216	616
医薬品事業	<15.1>	<56.5>	<18.4>	<140.5>	<18.5>	<42.3>	<18.9>	<35.9>
	683	258	625	-11	1,556	394	209	604
その他事業	<->	<->	<->	<->	<->	<->	<->	<->
	-3	-1	3	11	10	5	7	12

* 2007年度は、第一三共ヨーロッパ GmbH (DSE) の決算期を変更 (12月期→3月期決算) したため、15ヶ月決算 (2007年1月-2008年3月) となっております。2007年1月-3月の実績は、売上高141億円、営業利益18億円であります。

6. セグメント別情報 (所在地別)

(単位: 億円)

	2007年度実績					2008年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
連結売上高	<12.9>	<3.3>	<3.0>	<7.3>	<5.3>	<13.5>	<2.7>	<8.4>
	2,355	2,082	2,521	1,843	8,801	2,037	2,026	4,063
日本	<15.3>	<11.8>	<4.1>	<11.1>	<10.4>	<12.6>	<7.3>	<10.1>
	1,518	1,435	1,797	1,230	5,981	1,327	1,330	2,657
北米	<36.6>	<19.1>	<24.7>	<11.4>	<7.1>	<12.5>	<1.4>	<6.9>
	450	446	511	372	1,780	507	453	959
欧州*	<98.3>	<18.2>	<21.6>	<28.2>	<46.1>	<53.1>	<41.9>	<25.8>
	323	130	144	182	780	152	185	336
アジア/中南米 他	<59.1>	<73.8>	<52.7>	<36.3>	<55.0>	<16.9>	<16.3>	<16.6>
	63	70	69	59	261	52	58	111
連結営業利益	<11.6>	<48.5>	<17.2>	<98.8>	<15.0>	<41.0>	<17.1>	<34.4>
	678	261	629	1	1,568	400	216	616
日本		474	219	473	-95	185	82	267
		474	219	473	-95	185	82	267
北米		132	92	125	26	169	109	278
		132	92	125	26	169	109	278
欧州*		44	-11	14	59	12	0	13
		44	-11	14	59	12	0	13
アジア/中南米 他		7	5	7	4	7	4	11
		7	5	7	4	7	4	11

* 2007年度は、第一三共ヨーロッパ GmbH (DSE) の決算期を変更 (12月期→3月期決算) したため、15ヶ月決算 (2007年1月-2008年3月) となっております。2007年1月-3月の実績は、売上高141億円、営業利益18億円であります。

7. 主要会社の状況

7-1. 第一三共単体

(単位：億円)

	2007年度					2008年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
国内医療用医薬品合計	1,107	1,003	1,319	842	4,271	1,009	995	2,004
循環器関連疾患領域	638	585	718	502	2,442	600	572	1,172
オルメテック 【高血圧症治療剤】	138	126	176	112	552	156	157	313
カルブロック 【高血圧症治療剤】	25	23	30	24	102	30	29	60
アーチスト 【高血圧症治療剤】	55	51	60	46	211	57	53	110
メパロチン 【高血圧症治療剤】	163	154	182	116	616	135	131	266
クレメジン 【慢性腎不全用剤】	31	31	35	27	124	32	32	64
ハンブ 【急性心不全剤】	26	19	29	24	98	24	18	42
リハロ 【高血圧症治療剤】	14	13	16	12	55	15	15	29
サンリズム 【不整脈治療剤】	32	30	34	25	121	31	29	59
ファスティック 【血糖降下剤】	13	13	15	11	52	13	13	26
感染症/骨・関節/免疫・アレルギー/泌尿器	336	306	459	287	1,388	308	319	627
クラビット 【合成抗菌剤】	121	100	155	98	474	102	94	196
ロキソニン 【消炎鎮痛解熱剤】	83	81	98	74	336	84	104	189
モービック 【消炎鎮痛剤】	28	26	29	20	102	24	21	46
ユリーフ 【排尿障害改善剤】	11	12	17	14	54	18	18	35
シルテック 【抗アレルギー剤】	27	19	27	37	108	20	16	36
造影剤/癌/消化器	158	145	171	117	591	123	125	248
オムニパーク 【造影剤】	82	77	92	60	312	73	73	146
トボテシン注 【抗悪性腫瘍剤】	16	15	17	13	62	16	15	31

7-2. 第一三共ヘルスケア

(単位：億円)

	2007年度					2008年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
ヘルスケア売上高合計	99	145	152	108	503	102	138	240
ルル類	11	37	37	15	100	12	36	49
ガスター10	9	8	10	8	35	7	9	16
新三共胃腸薬類	6	7	13	8	35	7	9	16
パテックス類	10	9	7	5	30	8	8	16
トランシーノ	-	14	7	5	26	7	5	12

7-3. 第一三共Inc. (米国)

(単位：億円)

	2007年度					2008年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
第一三共Inc. (DSI)	<29.8>	21.1	35.1	<16.6>	<2.7>	<12.0>	<0.6>	5.8
mil USD	332	319	376	242	1,269	372	317	689
	<32.7>	<19.4>	<39.6>	<3.6>	<0.4>	<29.4>	<8.4>	<19.0>
mil USD	275	271	330	234	1,110	356	294	649
ベニカー/ベニカーHCT 【高血圧症治療剤】	<36.1>	<23.0>	<22.0>	<2.0>	<5.3>	<2.6>	<1.8>	<2.2>
mil USD	228	217	241	193	879	234	221	455
	<38.8>	<21.3>	<26.3>	<11.6>	<3.0>	<18.6>	<11.3>	<15.0>
mil USD	188	184	212	184	769	223	205	428
エイゾール 【高血圧症治療剤】	-	-	<->	<->	<->	<->	<->	<->
mil USD	-	-	16	7	25	14	24	38
	<36.6>	<27.8>	<29.5>	<3.4>	<2.1>	<11.0>	<8.8>	<9.9>
mil USD	58	56	62	51	227	13	23	36
ウェルコール 【高血圧・心臓病治療剤 / 2型糖尿病治療剤】	<36.4>	<26.0>	<34.1>	<9.6>	<0.2>	<28.2>	<18.9>	<23.6>
mil USD	48	48	55	49	199	62	57	118

7-4. ルイトボルド ファーマシューティカルズ Inc. (米国)

(単位：億円)

	2007年度					2008年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
ルイトボルド (LPI)	<50.2>	<14.3>	<2.3>	<0.6>	<16.3>	<13.8>	<6.4>	<9.9>
mil USD	119	127	135	130	511	135	135	270
	<52.2>	<12.6>	<5.9>	<12.9>	<14.3>	<31.4>	<16.5>	<23.6>
mil USD	98	108	119	122	447	129	126	255
ヴェノファー 【貧血治療剤】	<50.8>	<16.5>	<3.5>	<5.5>	<17.6>	<23.1>	<6.4>	<14.0>
mil USD	68	80	82	81	311	83	85	168
	<52.8>	<14.6>	<0.3>	<5.7>	<15.6>	<42.2>	<16.7>	<28.3>
mil USD	56	68	72	76	272	80	79	159

7-5. 第一三共ヨーロッパ GmbH (欧州)

(単位：億円)

	2007年度					2008年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
第一三共ヨーロッパ GmbH (DSE)	<103.6>	<22.5>	<26.3>	<32.8>	<51.0>	<53.1>	<42.4>	<25.7>
mil EUR	323	130	145	182	780	152	185	337
	<79.4>	<9.2>	<14.7>	<27.4>	<37.5>	<54.2>	<42.5>	<26.8>
mil EUR	203	80	88	115	486	93	114	207
オルメテック/オルメテックプラス	<185.4>	<52.4>	<45.0>	<66.5>	<85.6>	<44.3>	<40.7>	<16.3>
mil EUR	149	74	83	112	418	83	103	187
	<151.5>	<35.5>	<31.0>	<58.4>	<69.0>	<45.6>	<40.5>	<17.5>
mil EUR	94	45	51	71	261	51	64	115
メパロチン 【高血圧・心臓病治療剤】	<77.9>	<22.8>	<13.3>	<1.5>	<11.5>	<74.3>	<3.4>	<52.2>
mil EUR	28	13	12	13	67	7	12	20
	<56.8>	<31.5>	<21.4>	<1.2>	<1.5>	<74.9>	<3.6>	<52.8>
mil EUR	18	8	7	8	42	4	8	12
エピスタ 【骨粗鬆症治療剤】	<->	<38.1>	<62.6>	<51.5>	<87.1>	<71.7>	<419.7>	<163.5>
mil EUR	19	7	13	14	52	32	35	68
	<->	<45.8>	<46.6>	<43.6>	<70.4>	<67.7>	<421.3>	<159.7>
mil EUR	12	4	8	9	33	20	22	42

* 2007年度は、第一三共ヨーロッパ GmbH (DSE) の決算期を変更（12月期→3月期決算）したため、15ヶ月決算（2007年1月-2008年3月）となっております。
2007年1月-3月の実績は、DSE 141億円（€89mil）、オルメテック/オルメテックプラス64億円（€40mil）、プラバスタチン16億円（€10mil）、エピスタ10億円（€6mil）であります。

7-6. アジア/中南米 (ASCA)

1) 各社売上高

(単位：億円)

	2007年度					2008年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
ASCA合計	47	52	52	59	210	<10.5>	<12.7>	<11.6>
第一製薬北京 (DPP)	9	10	10	12	41	<10.9>	<0.8>	<4.7>
上海三共 (SSP)	6	6	7	5	23	<29.5>	<64.3>	<47.1>
韓国第一三共 (DSKR)	9	9	9	8	34	<4.3>	<1.1>	<2.7>
第一三共タイ (DSTH)	2	2	2	2	8	<4.9>	<17.9>	<7.2>
台湾第一三共 (DSTW)	9	9	9	9	37	<1.6>	<1.2>	<1.4>
第一三共ブラジル (DSBR)	9	10	10	14	44	<11.5>	<14.9>	<13.3>
第一三共ベネズエラ (DSVE)	4	5	5	9	24	<21.7>	<12.0>	<16.2>

2) 主要製品売上高

(単位：億円)

	2007年度					2008年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
オルメサルタン	8	9	10	15	42	<69.3>	<110.1>	<91.5>
レボフロキサシン	20	19	21	19	78	<1.8>	<0.9>	<0.5>
プラバスタチン	8	8	8	8	32	<3.1>	<7.6>	<5.4>